

まつもと じゅん  
**松本純**

中区・磯子区・金沢区  
**まちかど  
政治版**

平成18年9月1日号  
発行 かながわ1区支部  
編集長 平木 茂



**9**月号  
2006年  
No.43

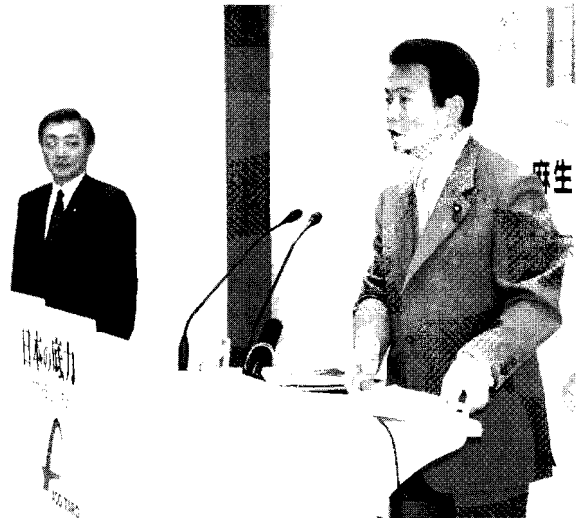
松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

**総裁選の流れは、「安倍政権」誕生ですが……**

# 私は「麻生支持」で、最後まで政策論争です！

自民党総裁選がいよいよ9月8日告示、20日開票の日程で行われます。5年間にわたった小泉政権の「改革路線」をどう継承し、どう発展させていくのか？ 国民全員に投票権があるわけではありませんが、今後の日本の行方を占う重要な選挙です。

総裁選は自民党の議員投票と党員投票によって行われます。議員投票では衆参両院議員に各1票が割り当てられます。党員投票では計300票が都道府県に振り分けられます。まず基礎票141票が47都道府県に一律3票。残る159票は配当票と呼ばれ、都道府県の党員数に応じて按分されるのです。



総裁選に出馬宣言をする麻生太郎候補

投票できる党員は、平成16年度・17年度に党費を納めた人で、各都道府県連に所属しています。その数は告示日前日に確定しますが、神奈川県連の現在の党員数は約4万3600人で、配当票は6票になる見込みです。これに基礎票の3票を加えた9票が神奈川県の持ち票となり、全党員の投票がドント方式といわれる算定方法によって、この持ち票にあわせて各候補者に配分されます。

さて、総裁選で私が支持する麻生太郎外務大臣は8月21日、出馬を正式に表明し、「日本の底力—活力と安心への挑戦」と題する政権公約を明らかにしました。この中で麻生さんは、日本が目指すのは「豊かさと安心を実感できる国」「それを実現するために何事にも挑戦する先駆者的国家」だといっています。先駆者的国家というのは、これまでに世界が経験したことの無い問題解決に挑むということで、「挑戦なくして豊かさや安心は得られない」と麻生哲学が反映されています。

主要政策として、①経済成長 ②教育改革 ③外交の転換—を掲げました。大胆な政策減税を行い、徹底的な歳出削減を図ったうえで、「必要な増税は国民にお願いする」という経済政策。就学年齢を1～2歳引き下げて基礎教育を徹底するなどの教育政策。そして外交政策では、「日米同盟を基軸としつつアジアの安定を図る」ことを強調しています。

メディアはそろって、安倍晋三官房長官の優勢を伝えています。だからといって、総裁選を「消化試合」にしてはいけません。私は最後まで「麻生支持」です。そして、最後まで政策論争を展開していきます。

# 松本議員の国会レポート ③②

平成18年

【8月2日(水)】

午前7時 ●第80回早朝駅頭演説会  
(金沢八景駅)

午後5時 ●関内再生研究会の提言説明

【8月9日(水)】

午前9時30分 ●オーストラリア国民党の政策ブリーフィング

午前11時 ●同自由党の政策ブリーフィング

午後0時30分 ●ガリー・ネアン特別国務大臣主催の昼食会

午後2時 ●連邦上下両院クエスチョン・タイム傍聴

午後4時 ●連邦上下両院議長表敬訪問

午後7時 ●オーストラリア政治交流会議設立25周年記念夕食会

【8月17日(木)】

午後10時30分 ●防衛施設庁から米軍池子住宅について説明

午後11時30分 ●外務省から麻生外相のイラク訪問について説明

正午 ●大勇会(河野グループ例会)

午後3時 ●NHKの城本解説委員が来室(総裁選について)

午後8時 ●麻生大臣と懇談会

関内の民間有志で構成する関内再生研究会から、その提言について説明を受けました。関内活性化のため、関内駅前の横浜市庁舎を桜木町駅近くの北仲南地区に移転し、その跡地に集客施設や防災拠点・観光支援施設を建設する?という大胆な提言です。行政がプランを示す前に民間がアイデアを出すのは大歓迎です。研究会の皆さんは「今後、横浜都心部の商店街などを巻き込んで実現を図りたい」とおっしゃっていました。

日豪議員交流によるオーストラリア訪問の3日目。この日は、海防艦艦長だった大オジの山田忠太海軍中佐が青森県八戸港で米軍の空襲を受けて戦死した日で、私は毎年、家族の皆さんと靖国神社にお参りしてきました。私は日本の国と自分たちの家族を守るために戦って亡くなられたすべての人に、哀悼の念をもって敬意を表したいと思っています。今年は海外出張中なので、遠くキャンベラから哀悼の誠を捧げました。

米軍池子住宅の横浜市域に建設される米軍住宅の計画概要が明らかにされました。18階~15階建ての高層住宅が5棟と低層住宅9棟の計700戸と小学校、レクリエーション施設などです。今後、横浜市や地元の合意が必要ですが、米軍施設の再整備では、小柴貯油施設や根岸キャンプの返還を含めて、長年にわたる懸案の最終段階を迎えています。地元の皆さんの意見を十分に反映していきたいと考えています。



▲7/24 「欧州各国における議会制度等の調査」で公務出張。スペイン本会議場の雑壇にて



▲8/6~13 日豪若手政治家交流訪豪代表団としてオーストラリアへ写真左はジョン・ハワード首相付首席政策顧問トニー・ナット氏との懇談。写真右はオーストラリア国立動物園にて



▲8/20 生まれ育った中区野毛の夏祭り(子之大神様の例大祭にて)

## 永田町日記

### IT大国インドとの交流、大切なのは継続すること

IT分野での日本とインドの協力については、2004年7月、当時総務大臣政務官だった私を代表とするミッションが訪印してミシュラ電気通信次官と会談し、これに基づいて2005年1月に情報通信技術協力協定が締結されました。そのときの訪印メンバーの“同窓会”が今年も7月31日、東京・赤坂のインド料理店で行われました。今年は総務事務次官を退任された林省吾さんも参加され、インドの思い出話に花が咲きました。そこで出席者の全員が再確認したのは、交流継続の重要性。次期総裁候補の麻生太郎さんもアジア外交の重要性を強調していますが、中国、韓国とともにインドがその核のひとつであることは間違いありません。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年~横浜市長(3期)▶平成8年~衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年~総選挙で次点落選▶平成15年~衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年~衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成17年11月~議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営や新人教育に取り組む。